



令和8年度 東京都北区立王子桜中学校

令和8年8月 第5号

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子 2-7-1

Tel 03-5902-3155

王子桜だより

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 自主 創造 飛翔

《祝 北区中学校夏季ソフトテニス大会団体戦、女子準優勝・都大会出場 男子第3位！おめでとうございます！》

6月21日(日曜日)北区中学校夏季ソフトテニス大会団体戦が王子桜中校庭で開催されました。女子団体は、準優勝で都大会出場を決めました！男子は都大会出場にはなりませんでした。見事に3位入賞を果たしました。本当におめでとうございます。今回応援に行けませんでした。都大会ぜひ応援に行かせていただきます。たくさんの保護者の皆さまが応援に来てくださいました。ありがとうございました。



《祝 男子バレーボール、ブロック大会3位・都大会出場おめでとうございます！》

6月28日(日曜日)男子バレーボール、ブロック大会3位おめでとうございます！

6月21日(日曜日)男子バレーボールブロック大会が王子桜中体育館で開催されました。王桜男子バレー部は、初戦、豊島区立駒込中と対戦し、2-0で勝ち、2試合目、日大豊山中に2-0で勝ち、3試合目、明桜中と対戦し2-0で見事に勝ち、

全勝し都大会出場を決めました。おめでとうございます。そして28日(日曜日)上板橋第一中学校体育館で開催された決勝リーグに出場し、3位入賞しました。本当におめでとうございます！都大会もぜひ頑張ってください！たくさんの保護者の皆さまが応援に来てくださり、ありがとうございました。



《祝 バレーボール北区夏季大会、ベストプレイヤー賞・優秀選手賞おめでとうございます！》

バレーボール北区夏季大会で、男子バレー 3年生 秋山さんが**ベストプレイヤー賞**・3年生 石引さんが**優秀選手賞**・女子バレー 3年生 桐原さんが**優秀選手賞**を受賞しました。おめでとうございます！



《祝 1年生佐藤さん Under 12 Asia pacific zone championship tournamentで、準優勝おめでとうございます！》

1年生の佐藤さんは、6月8日～12日に中国の天津市で行われました、野球のUnder 12 Asia pacific zone championship tournamentで、ピッチャーとして活躍し、見事にアジア大会で準優勝を果たしました。銀メダルが授与されました。本当にすごいことです、おめでとうございます！



《 3 年生進路説明会が行われました！ 》

6月26日（金）5校時、3学年生徒・保護者を対象に進路説明会を体育館で行いました。まず、二松学舎大学附属高等学校の鵜飼校長先生をお招きして、学校選択に向けて、とても分かりやすく説明をしていただきました。その後、進路指導の担当の先生から、今後の進路決定に向けての流れ等について説明がありました。本日の講師の鵜飼校長先生は、東京都の教育行政でご活躍されたのちに、都立武蔵野北高校の校長先生を勤めました。そして現在の二松学舎大学附属高校で校長先生をされています。



鵜飼校長先生からは、学校選択のチェックポイントや都立高校、私立高校両方の入試のしくみや学校の特徴をわかりやすく教えていただきました。また、二松学舎は、渋沢栄一翁が校長を勤め、今も二松学舎附属高校には、「論語」の授業が必修であることなど、わかりやすく丁寧に教えてくださいました。本当にありがとうございました。自身の進路選択に対する関心を高め、今後の中学校生活に役立ててください。

《 第四ブロック夏季剣道大会・北区中学校夏季卓球大会が開催されました！ 》

6月28日（日曜日）第四ブロック中学校夏季剣道大会が文京区の郁文館夢学園体育館で開催されました。個人戦・団体戦が行われました。礼を重んじ、果敢に闘う姿がかっこよかったです！大勢の保護者の皆さまに応援に来ていただき、本当にありがとうございました。



同日、北区中学校夏季卓球大会が赤羽体育館で開催されました。男女とも熱戦を繰り広げました。保護者の皆様、卒業生の先輩もギャラリーから応援してくださり、本当にありがとうございました。

《 3 年生 自分の心と体を守る性教育講演会を行いました！ 》

6月30日（火曜日）、午前10時40分から、体育館で3年生対象に、自分の心と体を守る性教育講演会を行いました。この講演会は、思春期における心と体の変化をもとに性に対する正しい知識を身に付け適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てると、豊かな人間関係を築いていくため、互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を育てることを目的として行われました。講師には、赤羽駅前女性クリニック院長の深沢先生をお迎えして行われました。深沢先生には、医学的な見地から大変専門性の高い内容を中学生にわかりやすく、そして親身になってお話しをしていただきました。本当にありがとうございました。また、保健委員会の3年生が司会・進行・謝辞までのすべてを行ってくれました。さすが3年生だと改めて感心しました。本日、深沢先生の講演で学んだことを、一生涯の学びとして自分の心と体を守って欲しいと思います。



《 自衛消防訓練を行いました！ 》

7月1日（水）放課後、大変ご多用の中、王子消防署予防課自衛消防担当係長の山田様をはじめ署員の皆さまにお越しいただき、教職員対象に自衛消防訓練を行いました。予防課の皆様には、非常ベルの確認・消火栓・および消化器の正しい使用方法。救助袋の操作、避難経路・非常階段への誘導確認等、丁寧に指導いただきありがとうございました。今後とも教職員一同気を引き締めて、火災予防、有事の際の安全な避難、人命救助等をしっかり身につけてまいります。



《 3 年生 租税教室を行いました！ 》

7 月 3 日（金曜日）6 校時、3 年生は武道場で租税教室を行いました。講師として東京税理士会王子支部租税教室推進部の日下部様、山村様のお 2 人にお越しいただき、ご専門の立場から税について分かりやすく丁寧に教えてくださいました。3 年生は、夏休みの宿題に税の作文がありますが、大変参考になったのではないのでしょうか。何より近い未来、みなさんが納税者として税金を払う際に正しい知識、認識を身につけるためにも大変勉強になったことと思います。「納税なくして国家なし」、国民の三代義務の一つである納税の義務をより身近に感じてもらえたら幸いです。



《 1 年生 アンガーマネジメント講座を行いました！ 》

7 月 3 日（金曜日）5・6 校時、1 年生はアンガーマネジメント講座を体育館で行いました。講師には、一般社団法人アンガーマネジメントジャパン 実践リーダーの伊藤様にお越しいただきました。伊藤さまから、自分の気持ち（感情）に気づき、落ち着いて自分の気持ちや考えを相手に伝え、よりよい人間関係を築いて行くことが大切であることを教えていただきました。そして心と体を落ち着かせる方法、イライラしない考え方にする方法など具体的にわかりやすく教えていただき本当にありがとうございました。



《SOS 講習会を行いました！ 》

7 月 6 日（月）6 校時 体育館で全校生対象に本校スクールカウンセラーの 真栄平(まえひら) 先生をお招きして SOS 講習会を行いました。真栄平先生には、大変お忙しい中にもかかわらず、この講習会のために、貴重な資料を用意していただきました。以下の 6 項目について記されています。

1. ストレスの仕組みを知ろう 2. 【小技 1】スケーリング（ストレスの採点） 3. 【小技 2】ストレスコーピング（自分なりの回復アイテム） 4. 【小技 3】援助要請（助けを求めるスキル） 5. 上手な SOS の出し方「3 つのキーワード」 6. 心のお守り

真栄平先生には、具体的な例を取り上げて、SOS の出し方・受け止め方について、とっても分かりやすく教えてくださいまして、本当にありがとうございました。



《2 年生 職場体験を行いました！ 》

7 月 1 日（水曜日）～3 日（金曜日）までの 3 日間、2 年生は職場体験を行いました。職場体験を通じて、働くことの意義を実感するとともに、一般社会での礼儀やマナーを学ぶ機会にもなり、学校内ではできない充実した体験をすることができました。ご協力いただいております 52 の事業所の皆さまには、改めて、心より感謝申し上げます。校長は、出張や校内会議等があって事業所全てをまわることができませんでしたことを心からお詫び申し上げます。また、生徒のみなさんの写真をなかなか、撮ることが出来ず申し訳ない思いでおります。事業所のみなさんからは、生徒へのお褒めの言葉や感謝の言葉をたくさんいただきました。職場体験に際して 3 日間、各ご家庭でお弁当の準備などご協力いただきましてありがとうございました。







北里柴三郎とテルモ株式会社

テルモ株式会社は、東京都港区虎ノ門ヒルズステーションタワーに、グローバル本社機能を強化した東京オフィスを置く世界に誇る日本の大手医療機器メーカーです。実は、このテルモ株式会社は、以前学校だよりで紹介した北里柴三郎博士と深い関わりのある企業なのです。北里柴三郎博士は、明治時代にドイツに留学し、コレラ菌の発見で知られるコッホに師事、破傷風の血清療法を発明するなど、ノーベル賞候補に挙げられたほどの世界的な医師であり、「日本近代医学の父」言われている偉人です。ドイツ留学を終え、日本に帰ってきてからの北里博士は、特定の企業や団体と関係を結ぶのではなく、一貫して国家・国民的なスケールで、医療の進歩や健康維持の普及に大きな貢献をしました。しかしその北里博士が、例外的に私企業の設立に関わったことがあります。1921年、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里博士をはじめ



北里柴三郎博士

【提供 北里柴三郎記念博物館】



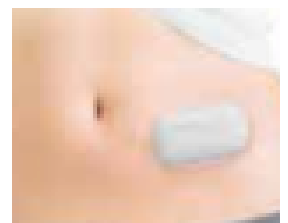
左 1926年頃の幡ヶ谷工場



右 水銀体温計を製造する様子

【提供 テルモ株式会社】

めとする医師達が発起人となり、ある体温計工場が設立されました。その企業こそ、テルモ株式会社でした。「テルモ」という社名は、体温計のドイツ語「テルモメーター」に由来します。テルモは体温計を量産し、病院で使うものという認識が一般的だった体温計を家庭にも広く普及。熱が出たら外出を控える。体温を測って健康管理をするという生活様式が、こうして多くの人々に浸透していくことになりました。その後、1963年には、日本初のプラスチック製の使い切り注射器を発売したことで大きな功績を挙げました。集団予防接種等で注射器の使い回しが当たり前だった時代に、感染を防ぐ技術の実現に取り組んだのは大変画期的なことでした。近年では、糖尿病患者のために、痛みの少ない極細注射針を開発したことで有名です。1型糖尿病患者さんは、インスリン注射針を用いて、毎日複数回インスリンを自己注射する必要があります。患者さんの痛みを少なくするため、テルモは世界で最も細い34ゲージの注射針を開発しました。この細い針の筒は、一枚の板を丸めて成形することにより、穿刺抵抗や痛みを小さくするための細い外径と薬液の注入抵抗を下げることの内径の確保を両立させています。また、針の先端を左右非対称の刃面にすることにより、皮膚に「突き刺す」のではなく、カミソリのような鋭い刃先で「小さく切る」ように工夫することで、患者さんの肉体的、精神的な負担を軽減し、QOL (Quality of Life) の向上に貢献し



インスリン注射

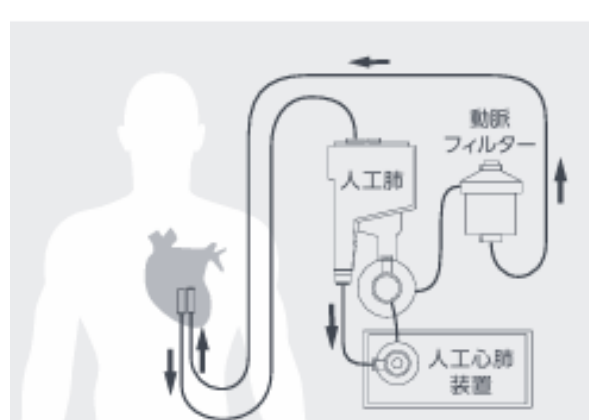
【提供 テルモ株式会社】

ています。この技術は、公益社団法人発明協会が主催する「令和3年度全国発明表彰」において、「文部科学大臣賞」および「発明実施功績賞」を受賞しました。テルモでは、体温計や血圧計など家庭用機器は、総売上の1%にも満たない程で、大半が病院などで使用される医療機器であり、カテーテル治療、心臓外科手術、薬剤投与、糖尿病管理、腹膜透析、輸血や細胞治療などに関する幅広い製品・サービスを提供しています。2025年3月末時点で、世界160以上の国と地域で事業を展開し、30,689人以上の社員が世界中で日々働いています。生産拠点数は、全体29（日本7・海外22） 研究開発拠点数 全体22（日本6・海外16）と海外での大規模展開されていることがわかります。2025年度3月期の業績では、売り上収益は、1兆362億円で、海外での収益が8,190億円でおよそ8割にあたります。製品品数52000点以上、特許数約8,500件にもものぼる世界有数のグローバル企業なのです。

そんなテルモがアフリカで挑んでいるのが、輸血の安全性を向上させ、医療の水準を向上させることです。アフリカ諸国では、妊婦さんの出産前後出血や、マラリア、鎌状赤血球症による貧血の治療など、輸血による血液需要がますます高まっています。世界保健機構（WHO）によると、適切な医療水準を維持するには、国の人口の1%にあたる献血者数の確保が必要とされます。一方でアフリカ諸国では献血に関するインフラ整備の遅れや啓発活動不足などにより、血液の供給量が必要水準を下回っています。テルモは、血液バンクなど輸血に関連のある製品の提供のみならず、国際機関、保健省、民間企業、NPO、NGOなどと連携して、持続的な血液供給を実現することに取り組んでいます。そして、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに忘れてはならないテルモの功績があります。それは、何と言っても「エクモ（ECMO）」の開発です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、重症患者の方への治療でエクモという言葉がメディアを通して何度も耳にする機会がありました。エクモは、肺の機能が低下して、酸素吸入や人工呼吸器でも救命困難な重症呼吸不全の際に使用されます。肺が本来行うべき機能をエクモが代替することで、肺を使用しなくても良い状態を作り出し、肺機能が回復するまでの時間を確保することができます。このように、命の最後の砦ともいべきエクモですが、その仕組みは、足にある太い血管から血液を取り出し、首や反対側の太ももにある血管に送り戻すという構造が一般的です。エクモを装置した後も回路の状況や患者の容態に合わせた対応を24時間体制で続けなくてはならないため、管理には極めて高い技術が必要としました。そのため医師、看護師、臨床工学技士等、エクモ治療の技術を有する医療従事者の育成が急務となりました。それと同時に開発したエクモの技術者も医療従事者に高度な技術を伝えるために、自らも感染症に罹患する恐れのある中、命をかけてエクモを設置して行ったのです。現在、テルモは「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、100年以上にわたり、医療の進化に貢献してきました。現在、テルモは3つのカンパニーで事業を展開し、医療の現場に貢献しています。

■ 心臓血管カンパニー

血管内治療と心臓外科手術において、患者さんの負担軽減を追求する人間の生命活動を支える脳・心臓・肺、そして全身の血管の病気の治療に関わる事業を展開しています。心臓や脳の血管にカテーテルを通して



人工心肺システム

【提供 テルモ株式会社】

人工心肺システムのイラスト

【提供 テルモ株式会社】

治療を行う血管内治療関連デバイス、心臓外科手術中に心臓・肺の機能を代替することで生命維持を行う人工肺や人工心肺装置、病気で傷んだ血管の代わりとなる人工血管やステントグラフトなどを医療現場に提供しています。より良い治療効果の実現、患者さんの身体への負担軽減および生活の質の向上を目指し、医療従事者と共に取り組んでいます。

■メディカルケアソリューションズカンパニー

患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供する近年、高齢化に伴う患者数の増加や疾病の多重化・慢性化により医療費が増大しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、感染対策への意識が高まりました。さらには、テクノロジーの進歩による、患者さん一人ひとりの個性に合わせた個別化医療へのニーズも高まっています。このような多様化・複雑化する医療現場の課題やニーズに対し、これまで培ってきた強みをいかしたソリューション（問題解決策）最先端の提供をさらに充実させることで、患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供しています



心臓外科手術写真

【提供 テルモ株式会社】

■ 血液・細胞テクノロジー

カンパニー血液・細胞治療の発展に貢献すると共に、世界の輸血医療を支える血液と細胞を採取・分離する技術を通して、世界の輸血医療を支え、患者さん一人ひとりに適した治療の提供を目指しています。機器、ソフトウェア、データ解析などを組み合わせることで、血液センター、病院、細胞治療の研究機関や製薬企業など、さまざまなお客様のオペレーションの向上、そして治療の質の向上を支援しています。医療の現場では、高齢社会による疾病構造の変化、細胞・遺伝子治療の普及やデジタル・AI 技術の進歩により大きな変革が起こっています。

テルモが掲げる「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念には、「命を支える杖でありたい」と願う北里柴三郎博士のチャレンジとイノベーションの精神が引き継がれ、世界中の医療現場を支え続けているのです。

【テルモ株式会社を訪問させていただきました】

本校の保健委員の生徒さんが港区虎ノ門の虎ノ門ヒルズステーションタワー21 階にあるテルモ株式会社東京オフィスを訪問させていただきました。広報室の橋爪様・岡様からテルモ株式会社の沿革や、体温計のイメージが強い一方で、売上の大半は注射器やカテーテル、心臓血管治療機器などの医療施設向け製品が占めており、世界 160 以上の国と地域で事業を展開していることなどをわかりやすく丁寧に説明してくださいました。さらに実際に医療現場で使用されている最新の医療機器の実物を見せていただき、大変貴重な体験までさせていただきました。本当にありがとうございました。

